



伊藤若冲「象と鯨図屏風」より構成

講座
2

国際関係

月曜・13:00～
オンライン併用

プラザ

現代世界の戦争と平和を考える

現代世界では各地で戦争、ナショナリズムと帝国主義、イデオロギーの対立が継続的に起きていますが、なぜ起こるのでしょうか。それらの形態は大きく変化しています。文明の衝突、歴史の終焉といったことも語られています。他方で国連、市民運動、集団安全保障、国際司法、グローバルガバナンスなど、戦争を予防し終結させる多様な試みも行われています。ウクライナ戦争、ガザ紛争、テロとの戦い、スーダン紛争などを手がかりに、世界の平和への展望を考察します。講座とワークショップの講師はお茶の水女子大学の小林誠教授です。

WS-
2

国際関係

月曜・15:00

プラザ

戦争はこうしてもたらされる —過去と現在を往還しながら考える

戦争やテロのような暴力は、どのような思考様式の偏りから生まれるのでしょうか。思考の縮減、指導者の傲慢、過度なナショナリズム、文化的・人種的偏見といったものがどのように悲慘をもたらすかを、米国の歴史学者ジョン・W.ダワー著『戦争の文化—パールハーバー・ヒロシマ・9.11・イラク』を熟読し、戦後史から検討していきます。これらが現在や今後の紛争にどう関係していくかをウクライナ戦争や台湾問題で考察します。

（世話人 芦澤 康夫）



講座
4

現代事情

月曜・10:30～
オンライン併用

プラザ

緊迫の中東情勢の行方

防衛大学校准教授 江崎智絵先生にコーディネートして頂いた講座です。

2023 年 10 月に始まったガザ戦争は、どのように秩序の回復へと向かっていくのでしょうか。



2025 年 10 月 10 日 【AFP 時事】ガザ市 2025/7/8 のイスラエルとハマスの停戦合意から 2 か月余り、第一段階の人質解放が進められています。一方、合意発効後もイスラエルの攻撃が続き、第二段階のガザ統治、治安、復興、開発をアメリカ他、関係する諸国がどのように進めていくか、余談を許さない状況にあります。

講座開講は、本年 7 月からの 6 回講座で半年以上先であり、この間事態が大きく動くことが予想されます。いずれにしても本格和平、秩序回復へと収拾に向かうことを祈るばかりです。

ガザ戦争の背景や関係する国々の今後の動きに注目しながら考えます。（世話人 森田 幸士）

地域協働
E

福祉

金曜・10:30

プラザ

なくしたことを大切にするグリーフケア

「グリーフ」は大切な人、ものなどを失うことによって生じる自然な反応、状態、プロセスのことです。病気をしたり、家族



リヴオン HP より

がバラバラになったり、お金のことなど…。あらゆる課題に直面することがあります。

からまった問題を丁寧にほぐしていき、一緒に考える。なくしたことを共に大事にする時間をすごす。その人が自分の人生を生きていくところまで。そんな支えがグリーンケア、グリーンサポートであり、講師の尾角光美先生は講座でも実践してくださいます。

なお、各回とも皆さんと取り組むワークを行いますが、ご自身のお気持ちを大切にパスすることも可能ですのでご安心ください。

（担当理事 守田 啓子）

WS-
9

音楽・芸能

木曜・13:30

大山街道

映画『国宝』をめぐる

今年の夏以降は人に会うと「『国宝』見た？」というのが挨拶の一つでした。来期いよいよこの話題の映画『国宝』を通して歌舞伎を知るという内容で 10 回の講座が開かれます。



映画でさわりの部分を美しく取り上げられた舞踊の『関の扉』、『二人道成寺』、『藤娘』や『鷺娘』については日本舞踊の専門家に、また近松門左衛

門の世話物『曾根崎心中』はその背景や見どころを歌舞伎研究の先生方に、さらに小説と映画『国宝』の取り上げ方の違い、映画のテーマの一つ歌舞伎界における「血筋と才能」についても歌舞伎役者や専門家からお聞きできる予定です。

この映画をきっかけにもう少し歌舞伎のことを知りたい方、ぜひ大山ふるさと館へ！

（代表世話人 山崎 直子）

講座
12

科学が拓く
新世界

金曜・13:00～
オンライン併用

プラザ

人間の知能、人工の知能

人工知能（AI）にロボット、人の脳や身体を操作する技術などが急速に発展し、実社会にあふれてきました。先端技術によるバラ色の未来と恐ろ

しい予想の両方が、あれこれ言われています。

どちらが正しいのでしょうか？ これらの科学技術とどう付き合っていけばいいのでしょうか？ 科学技術が人間にとってどういう存在なのかを知るところから始め、未来の展望を描こうというのがこの講座の狙いです。サルやチンパンジーはどんな道具を使うのか？ 人間の知能と人工知能はどこが同じでどこが違うのか？ 脳とコンピューターは合体できるのか？——私たちの未来がどうなっていくのか、第一線の研究者からお話をうかがい、一緒に考えていきます。



（世話人 芦澤 康夫）

講座
27

美術Ⅱ

金曜・10:30～
オンライン併用

新百合

じっくり学ぶ美術と文化 西洋近代（19 世紀）

「教えて！池上さん」の美術版といってもよいほど、市民アカデミーでは大人気の池上英洋先生（東京造形大学教授）に今回は「じっくり学ぶシリーズ」の続きで 19 世紀フランスを中心とした美術の流れをお話しいたします。私



「ラ・ジャポネーズ」
クロード・モネ

たちにもなじみの深い印象派は実はどうやってできたのか、またこの時期になぜ日本美術が注目されたのか、そして少し前まで大阪で開催されていた万博という制度がこの時期にどのように美術の発展に寄与したのかなど、なかなか自分では勉強しにくい内容を分かり

やすくご講義いただきます。都内で開催される展覧会もこの時期のものが多く、講義で得た知見は今後の美術鑑賞にもきっと役に立つことでしょう。今からもうワクワクしています。

（世話人 産形 陽子・笹井 雅子）

講座
6

世界史

金曜・10:30～
オンライン併用

プラザ

世界史上最強の騎馬遊牧民国家、モンゴル帝国の歴史

モンゴルと聞くと、何を想像するでしょうか。モンゴル高原の大草原やゴビ砂漠、大昔海辺があり木が生い茂り恐竜が闊歩した大地、騎馬遊牧民の住む大地、大相撲の横綱を輩出する国等々がありそうですが、歴史に関心のある人にはチンギス・ハンとその後裔たちが作り出した世界史上最大の大帝国ではないでしょうか。



チンギス・ハン像（赤坂先生撮影/
内モンゴル・オルドスのチンギス・ハン廟）

2026 年度前期の世界史講座では、新たな研究成果により解明が進むこの大帝国を取り上げます。モンゴル帝国研究者として

世界的に著名な白石典之先生と村岡倫先生、四日市康博先生、さらに、地元の玉川大学でも教鞭をお執りの永井匠先生と高木小苗先生、そしてコーディネーターをお願いした赤坂先生の講義では、モンゴル帝国とその継承政権の歴史について総合的・多面的にお話いただきます。（代表世話人 中澤 晶人）

講座
29

エクセレントⅡ

金曜・13:30～
オンライン併用

新百合

敗者の日本史～真の歴史は敗者が宿す～

敗者の歴史を追えば、もう一つの日本史が見えてくる。とかく「歴史は勝者がつくる」と、言われますが、勝者がいれば敗者がいる。

時代の転換の中で敗者が担った役割にスポットライトをあてるとともに、勝者の歴史に一石を投じもう一つの豊かな歴史像を「大化の改新と蘇我氏」から「奈良、平安、鎌倉、南北朝での権力闘



争、戦国争乱、江戸の内乱、維新」を経て、世界大戦に突き進んだ「昭和戦時下日本の諸相」までを学びます。必然の敗因では捉えられない敗者の実像を「敗者の日本史～真の歴史は敗者が宿す～」と題し、我が国の歴史上の画期をなした事件や人物たちに思いを馳

せ、勝者により薄められた歴史を敗者から読み解きます。（代表世話人 森田 幸士）

追加募集中!!

是非ホームページをご覧ください。

最終締切り日：2026 年 1 月 28 日(水)0 時
短期集中講座 102「ファーストエンペラー
～秦の始皇帝の死と兵馬俑の謎～」

開催日：2 月 3 日、10 日、
17 日（全て火曜日）

時間：10 時 30 分～12 時

会場：新百合 21 ビル

講師：学習院大学名誉教授

鶴間 和幸



【講座概要】中国をはじめて統一した始皇帝は、12 年後に 50 歳で亡くなった。遺詔では後継者と葬儀の次第を言い残した。しかし死後に遺詔は破棄され、葬儀を託した扶蘇と蒙恬将軍は自殺させられた。始皇帝陵の地下宮殿に埋葬されたが、始皇帝を守る地下の兵馬俑坑の軍隊はどのようなものであったのか、その謎に迫りたい。

2025 年度 SDG s 講演会

緑地と文化 ～夢を旅する

ニューヨーク、ボストン、中国、フーダン、
そして川崎へ

開催日時：2026 年 3 月 14 日（土）
13 時 30 分～16 時 30 分

会場：川崎市生涯学習プラザ 4 階
401 会議室（対面受講のみ）

定員：120 名

講師：石川幹子先生（いしかわ みきこ）

東京大学名誉教授

国際文化的景観科学者

委員会日本代表

第1部 講演

第2部 参加者とともに
考える



石川先生からのメッセージ

世界の都市には、誇りとするかけがえのない公園や緑地があります。それは、どのようにして創り出され、手渡されてきたのでしょうか？（答は講演会で！）

講座
14

野の自然学

火曜 13:30

プラザ
・野外

草花樹木でみどり学

自然環境を広く学び、身近な自然に目を向けるきっかけをつかむことを目的とした講座です。

2026 年前期の座学講座では「コケ」、「どんぐりの視点でブナ科の植物」や「生物多様性」、「菌類（キノコ）」等多様なテーマについて専門分野の講師からご講義いただきます。

野外講座では季節毎の植物の観察を行います。前期は「桜川のヤマザクラ（バスハイク）」、「等々力溪谷」、「小石川後樂園」、「夢の島」を見学します。

花・樹木の名前や特徴がわかると植物の見方が少し変わります。一度、野・ロウバイ(甘い芳香があります)の自然学『みどり学』に参加してみませんか！

(代表世話人 及川 由美)

短期
集中

新百合 21 ビルで開催
3 日間で集中的に学びます

101

短期集中

火曜・10:30～
オンライン併用

新百合

二人の日本史～補佐役の時代～



二人（兄弟、親子、夫婦）の日本史です。今回は兄弟たちを主題に、大願成就のため補佐役に徹し活躍した弟にスポットを当てて眺めます。功績に世を去った3人の武将（源範頼、足利直義、豊臣秀長）をそれぞれの研究の第一人者である鈴木先生、関先生、大石先生にご講義頂きます。賢兄愚弟？愚兄賢弟？豊臣兄弟の大河ドラマもスタートしています。

(源範頼、足利直義、豊臣秀長) をそれぞれの研究の第一人者である鈴木先生、関先生、大石先生にご講義頂きます。賢兄愚弟？愚兄賢弟？豊臣兄弟の大河ドラマもスタートしています。

(世話人 森田 幸士)

102

短期集中

木曜・16:30～
オンライン併用

新百合

裏から見る絵で世界が変わった！
～遠近法と美術

紙芝居からテレビに移ったように、同じ平面とはいえ人は絵画に奥行きを求めてきました。現在の VR の先駆けともいえるべき線遠近法の発見を中心に、絵画における空間表現という切り口から西洋絵画の歴史をたどります。それにしても「裏から見る絵」とは果たしてどういうものなのでしょう。今から興味津々です。

(世話人 笹井 雅子・産形 陽子)



「キリストの鞭打ち」(部分)

2026 年春季 日本史特別講座

「三関を旅する～愛発(あらち)・不破(ふわ)・鈴鹿(すずか)～の記憶をたぐる」

春季日本史特別講座を 2026 年 2 月 18 日、3 月 11 日、18 日に開催いたします。これは日本史特別講座「歴史を旅する」の続編となっています。テーマは「三関(さんせき)を旅する～愛発・不破・鈴鹿～の記憶をたぐる」。京都に入る境界をなした三関を定点観測します。

第 1 回越前愛発関を関幸彦先生、第 2 回伊勢鈴鹿関を鈴木哲先生、第 3 回美濃不破関を遠山美都男先生にご講義いただきます。受講料は各

回とも 2,000 円、時間は各回 10 時 30 分～12 時、会場は川崎市生涯学習プラザ 4 階 401 大会議室です。先着順ですので早めにお申し込み下さい。

(日本史講座担当 阿部秀一)



認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報・地域連携部会

編集人 かわら版編集委員会

川崎市中区今井南町 28-41 川崎市生涯学習プラザ 3F <https://kawasaki-c-academy.jp/>

電話 044-733-5590 FAX 044-722-5761

問合せメールアドレス HP はこちら

info@kawasaki-c-academy.jp<https://kawasaki-c-academy.jp/>